

日野市 定例記者会見

令和6年5月30日 午前10時から
市役所4階 庁議室





令和6年第2回日野市議会定例会提出 補正予算(案)について

問い合わせ先 財政課

課長 佐藤 ☎042-514-8076



令和6年第2回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 各会計の補正状況 (1) 補正予算額

(単位:千円)

会 計 区 分	補正前	今回補正	補正後
一般会計(3号)	72,868,267	2,547,335	75,415,602
国民健康保険特別会計(1号)	17,789,945	5,919	17,795,864
土地区画整理事業特別会計	2,388,475	0	2,388,475
介護保険特別会計	16,069,028	0	16,069,028
後期高齢者医療特別会計	5,673,748	0	5,673,748
市立病院事業会計	11,357,220	0	11,357,220
下水道事業会計	5,819,027	0	5,819,027
合 計	131,965,710	2,553,254	134,518,964

令和6年第2回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 各会計の補正状況 (2) 主な補正内容

会 計 区 分	主な内容
一般会計	・ 児童手当の拡充、新型コロナウイルスワクチン接種の定期接種化など、制度改正対応 ・ 物価高騰対応重点支援給付金の支給 ・ 豊田跨線人道橋補修工事の内容精査に伴う年度間予算額調整 など
国民健康保険特別会計	・ 被保険者証のマイナンバーカード一体化に伴う確認通知の作成
土地区画整理事業特別会計	・ 今回補正なし
介護保険特別会計	・ 今回補正なし
後期高齢者医療特別会計	・ 今回補正なし
市立病院事業会計	・ 今回補正なし
下水道事業会計	・ 今回補正なし



令和6年第2回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 一般会計補正内容 (1) 歳入予算

(単位:千円)

予算科目	主な内容	今回補正
国庫支出金	①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 ②児童手当負担金 ほか	2,327,300
都支出金	①児童手当負担金 ②学校給食費負担軽減事業 ほか	135,869
寄附金	①指定寄附金(教育)	1,000
繰入金	①財政調整基金繰入金	159,839
諸収入	①新型コロナ定期接種ワクチン確保事業に対する助成事業 ②全国市長会市民総合賠償保障保険金	170,327
市債	①豊田跨線人道橋補修事業	▲247,000
合 計		2,547,335

令和6年第2回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 一般会計補正内容 (2) 歳出予算

(単位:千円)

予算科目		今回補正
総務	おくやみ窓口の設置	3,259
民生	物価高騰対応重点支援給付金の支給	1,641,510
	児童手当制度改正への対応	805,391
	新たな民間保育園設置に伴う整備費用等の補助	22,337
衛生	新型コロナウイルスワクチンの定期接種化に伴う対応	238,097
土木	豊田跨線人道橋の年度間予算額調整	▲258,024
消防	防火水槽の埋め戻し	1,353
教育	エデュケーション・アシスタントの配置	44,637
	三沢中学校チャレンジクラスにおける学習環境の整備	10,500
その他		38,275
合 計		2,547,335

Topics

1.



気候市民会議

～政策提言書受領後の動きについて



問い合わせ先 環境政策課

課長 中平 ☎042-514-8294

気候市民会議とは・・・

気候市民会議は2019年ごろからフランスなど、欧州で広がりを見せている新たな取り組みであり、近年は国内でもこの会議に取り組む地域が増えてきています。脱炭素社会の実現には複雑な利害や社会・市民生活にも負担が伴うため、継続的な学び、異なる立場の人々の参加、議論の上での広範な合意形成が欠かせません。

このような多様な意見を取り入れた政策の議論の場として、無作為抽出（くじ引き）で社会の縮図を構成するように集まった一般の市民（数十名）が数カ月をかけて気候変動対策について話し合う会議です。

会議で議論された結果は自治体の政策決定に活用します。

16歳～78歳の無作為抽出
市民約40名



性別・年齢など日野市の人口構成に合わせて
無作為抽出により会議メンバーを構成

参 画

気候市民会議



学び

熟議



毎回「学び」と「熟議」の構成で
半日かけて会議を開催

令和5年度 気候市民会議 の経過

日野市気候市民会議 5日間のプログラム

- ① 気候変動の現状とこれから
- ② テーマ：モ ノ
- ③ テーマ：モビリティ
- ④ テーマ：エネルギー
- ⑤ まとめ

2023年8月～12月にかけて
毎月異なるテーマで開催



令和6年2月10日開催の環境フェア
にて提言書を大坪市長へ提出

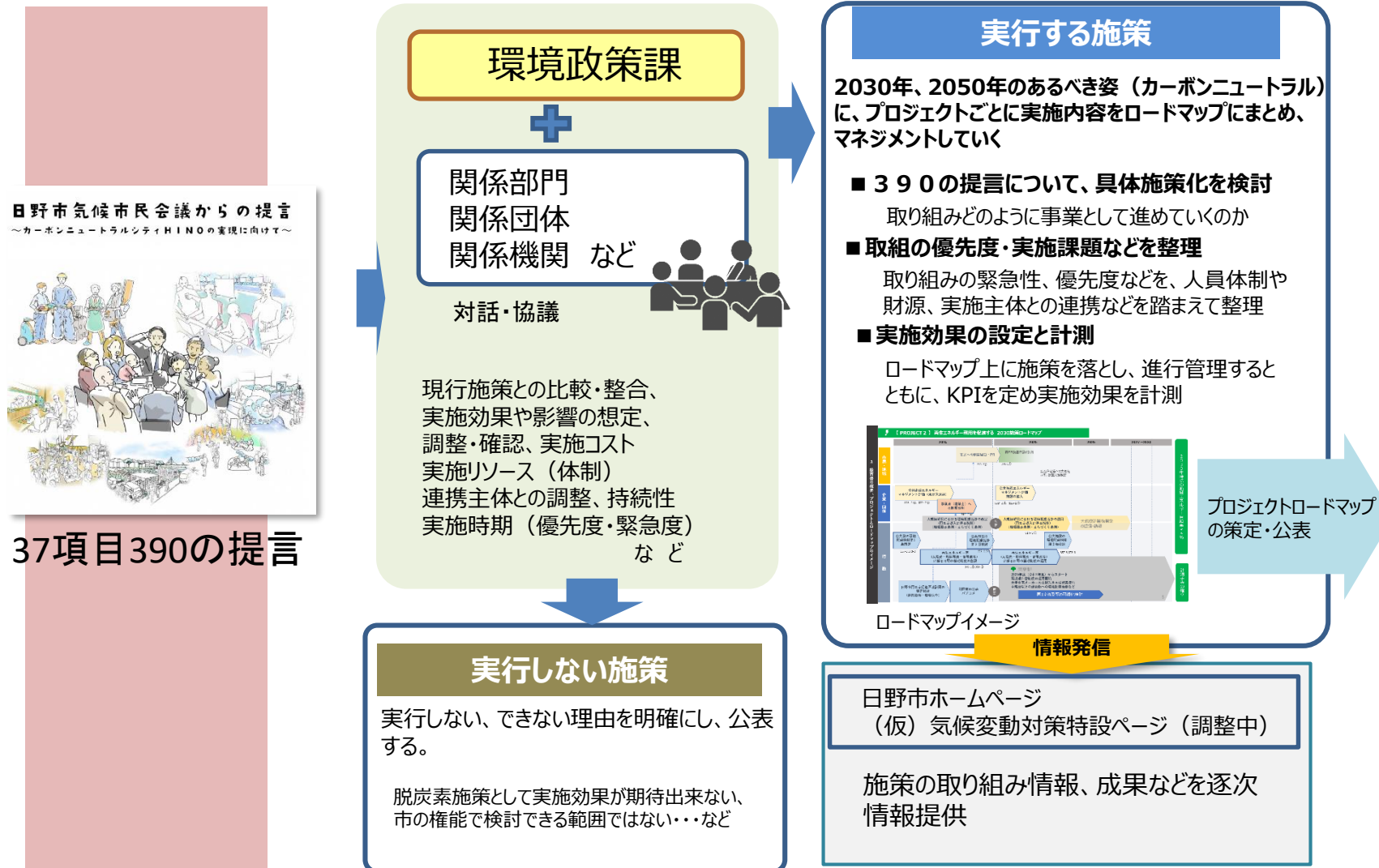
日野市気候市民会議からの提言 ～カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けて～



2月に37項目390個の気候変動対応の
ための提言をとりまとめ

市気候市民会議提言受領後のプロセスイメージ

「気候市民会からの提言」項目の具体化（施策化）検討プロセスのイメージ



施策を具体的に推進していくための7つのプロジェクト（案）

気候市民会議からの提言 37項目390の提言を7つのプロジェクトとして設定
着手可能なもの、優先度の高いプロジェクトから順次取り組んでいきます。

気候市民会議の提言を受けた7つのプロジェクト



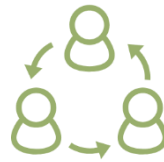
取り組みの輪を広げる

【 PROJECT 1 】



再生エネルギー利用を
促進する

【 PROJECT 2 】



モノを循環させる仕組み
をつくる

【 PROJECT 3 】



気候変動のリスク・取り
組みを広める

【 PROJECT 4 】



気候変動の学びの
場・機会をつくる

【 PROJECT 5 】



環境に良い移動をつくる

【 PROJECT 6 】



CO2排出の少ないライ
フスタイルにシフトする

【 PROJECT 7 】

提言の内容、方向性から7つのプロジェクトテーマにまとめました。
今後のプロジェクトの進捗や社会状況の変化によっては、プロジェク
トの統合や、追加などもあり得ると考えております。

- ※ 着色は優先度の高いプロジェクトとして、早期にロードマップを作成し、
推進してまいります。
- ※ 優先するプロジェクト以外にも早期の対応が求められる施策は適宜着手
していきます。

これまでの取組成果、これからの取り組み

直近の成果



公共施設の実質再生エネルギー利用 100%の達成

提言33－行政－①

電力購入契約において市役所本庁舎、小中学校等の**計93の公共施設**で再生可能エネルギー100%電力を利用しています（令和6年度～）



人口10万人以上、50万人未満の自治体でごみの少なさNo.1

提言4－市民－⑦

令和4年度（2022年度）における全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果が令和6年3月に発表され、日野市は人口10万人以上50万人未満の市町村で、「1人1日当たりのごみ排出量」が初めて**全国1位**の少なさとなりました。



するもの（一部） R6 新たな着手



1. 気候変動対応の取り組みの広域化（自治体間連携）

提言1－行政－⑪



2. 熱中症対策の強化

提言1－行政－⑪



3. 複業人材の活用（気候変動対応施策）

提言1－行政－⑪

東京都市長会 多摩・島しょ広域連携活動助成事業 採択事業



(仮)気候非常事態多摩自治体ネットワークについて

気候変動についてはグローバルな課題であり、自治体毎に個別に取り組むよりも、社会的なムーブメントとして取り組むことでより大きなインパクトとなる。多摩地域の産学官民が目標や課題を共有し、協調・共創していくためには、まず、多摩地域の自治体間で連携し、地域のあるべき姿について共有していく必要がある。

有識者等の示唆や国外などの事例を研究しながら、それぞれのソーシャルキャピタルを共有し、次のアクションや横展開につなげる場としていく。

熱中症対策 酷暑日の外出時休憩所を拡充します

提言26－市民－⑦
－行政－⑤

市内公共施設及び商業施設等に呼びかけを行い、熱中症特別警戒情報発令時の受入先となる、クーリングシェルターを設置します。

令和6年度

令和7年度

クールスポット（現行） 高齢者の健康被害対策 ■ 高齢福祉課

高齢者を対象とした熱中症予防のための避難施設協力要請
大塚製薬と協力しステッカーを配布

市内112箇所を指定

各事業者へクーリングシェルターの
説明、転換を打診



令和6年度段階的にクーリングシェルターを試験導入、令和7年度中に統合を目指す。

※高齢福祉課は熱中症弱者である
高齢者への対応に注力

高齢者目線の考え方に加えて、全世代対象の整備へ

クーリングシェルター（環境省：R6～） 熱中症対策（全世代対象） ■ 環境政策課

目的	気候変動による猛暑日の増加や酷暑への適応策として、一時的な退避施設を設置することで、熱中症の予防効果の他、クールシェアの側面でのCO ₂ 排出量の削減効果も期待できます。（各家庭におけるエアコン消費電力の削減）
概要	公共施設や民間の商業施設などをクーリングシェルターとして指定。熱中症特別警戒情報が発表された場合、事前に公表していた曜日は指定暑熱避難施設として開放
関連提言	【提言ID：26－3－5】 夏や冬に近所の公共施設や商業施設で過ごすことを促し、家庭でのエネルギー消費（冷暖房など）を減らす
相違点	設置要件：(1)冷房設備があること(2)警報時に施設を開放義務(3)必要かつ適切な空間の確保

令和6年度に新規施設も含めて試験導入し、シェルターでの気候変動啓発活動をしながら拡充していきます。

実施の背景

気候変動施策は、

複雑で、多岐に渡り、関係者が多い。



必要な施策を官民連携・庁内連携で、
横断的かつスピーディに講じていくためには、

庁内での推進体制を整えることも悩みの一つでした。



こうした中で、共創提案をいただいたことをきっかけに、具体的な取組みを検討していた株式会社Another worksと民間複業人材活用に関する協定を締結しました。プロジェクトを効果的に進めるための専門スキルを持つ人材を複業人材として登用する実証実験を開始しています。

取組みの検討

実施する取組みの選定にあたっては、環境政策課と企画経営課、Another worksで話し合い、課題を絞り込んでいきました。



当初検討された課題

気候市民会議の提言書は、
37の提言と390の取組みと膨大!だからこそ…

① 事業企画・施策提案

民間とも協働して取組みを進めたい…

② プロジェクトマネジメントのサポート

利害関係者と一緒に取組みを進めたい…

③ デザイン、PRのアドバイザー

市民との対話や普及啓発を進めたい…



公募決定！

気候変動施策を推進するには、役割分担
とやる/やらないの判断が重要!だからこそ…

プロジェクト実現に向けてサポートし、
マネジメントのノウハウを伝授する

気候変動に挑む マネジメントパートナー

公募条件

- ・週1回、1時間程度オンラインでの勤務
- ・報酬は無償のプロボノ（ボランティア）

公募期間2週間で

20名を超える方からエントリー

今後のスケジュール



Topics

2.



GIS(地図情報システム)の活用により 日野市が米国企業の賞を受賞

問い合わせ先 情報政策課

課長 高橋 ☎042-514-8969

アメリカ 地図情報システム（GIS）企業の特別業績賞の受賞について



7月に米国カリフォルニア州で開催される世界最大のGIS（地図情報システム）のイベントにおいて、GISの運用に顕著な功績があったとして、全世界30万以上の企業、政府機関、自治体などのユーザーの中から、日野市が国内団体で唯一「SAG賞(Special Achievement in GIS Award)」を受賞します。

GIS（地図情報システム）とは

GIS（Geographic Information System の略）は位置情報を持ったデータを統合的に管理、加工し、視覚的に表現し、高度な分析や迅速な政策判断を可能にする技術であり、自治体業務のDX推進においては欠くことのできないツールです。

ESRI USER CONFERENCE（Esriユーザー会）とは

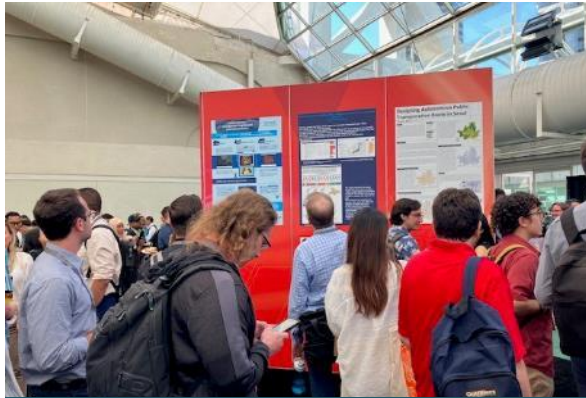
世界最大のGISイベントで、アメリカカリフォルニア州サンディエゴで開催され、例年17,000名以上が参加します。様々な分野のプロジェクトやノウハウを共有し、情報交流の場として活用されています。

日野市における（地図情報システム）の活用、受賞理由

- 日野市では20年以上前にまちづくり等の特定の業務で導入し、現在では全職員が利用可能な環境にあり、防災・災害対応やコミュニティ施策、福祉分野など様々な分野で活用が拡大しています。
- 2023年現在、4市住民情報システム（日野市・立川市・三鷹市・小金井市）共同運用するシステムの機能の一部としてEsri社のArcGIS（ソフトウェア名称）を組み込み、住民情報とも連携した利用範囲の拡大、高度利用化を進めていく方針です。

日野市におけるGISの活用

ESRI USER CONFERENCE (Esriユーザー会議)



マップギャラリーの展示



ブースでの事例発表

※写真は2023年度 法政大学 川久保研究室



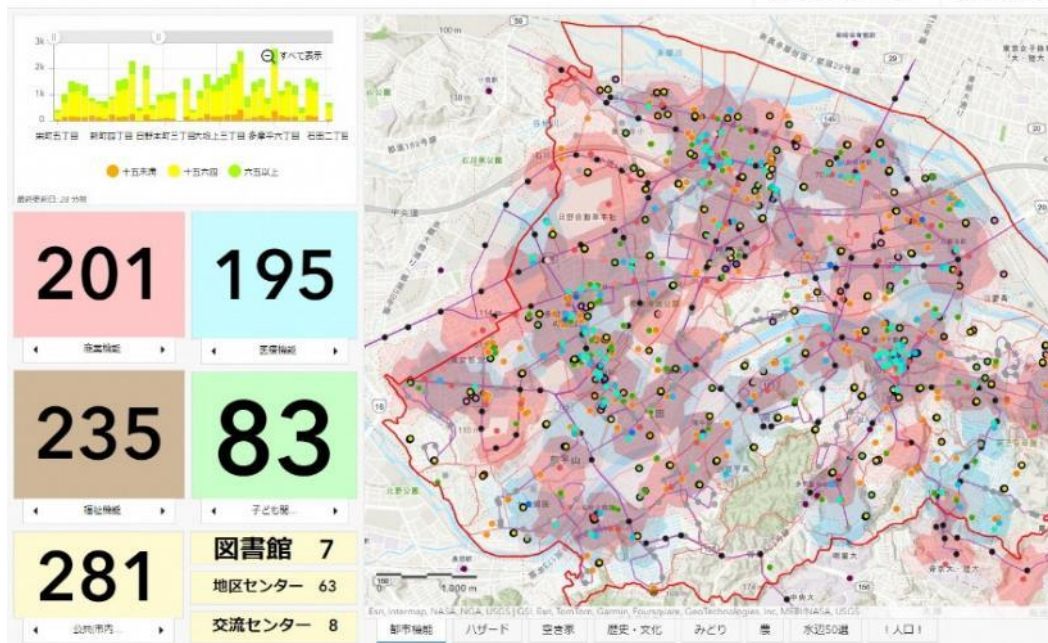
Esriユーザー会の授賞式の様子



過去10年の日本受賞者(自治体着色)

年	詳細
2012年 平成24年	立命館大学
2013年 平成25年	相馬市
2014年 平成26年	北九州市
2015年 平成27年	株式会社エネルギア・コミュニケーションズ
2016年 平成28年	総務省 消防庁 消防大学校消防研究センター 国立研究開発法人 情報通信研究機構
2017年 平成29年	室蘭市
2018年 平成30年	宇宙航空研究開発機構(JAXA)
2019年 令和元年	株式会社フジタ
2020年 令和2年	防災科研
2021年 令和3年	横浜国立大学
2022年 令和4年	東北電力ネットワーク株式会社
2023年 令和5年	ヤマト運輸株式会社
2024年 令和6年	日野市

日野市におけるGISの活用



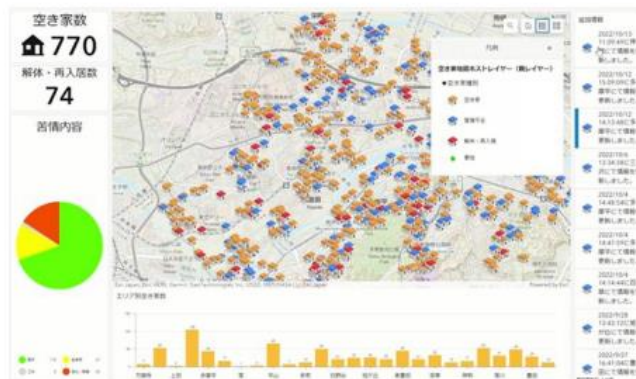
都市利便性・課題の可視化 (ダッシュボード機能)

商業・医療・交通・公共施設などさまざまな情報をGISに表示し、サービスの行き届かない地域を可視化。商業空白地域には移動販売、交通空白地域にはデマンド交通の実証などを実施

スマートフォンで見れる 登録フォーム

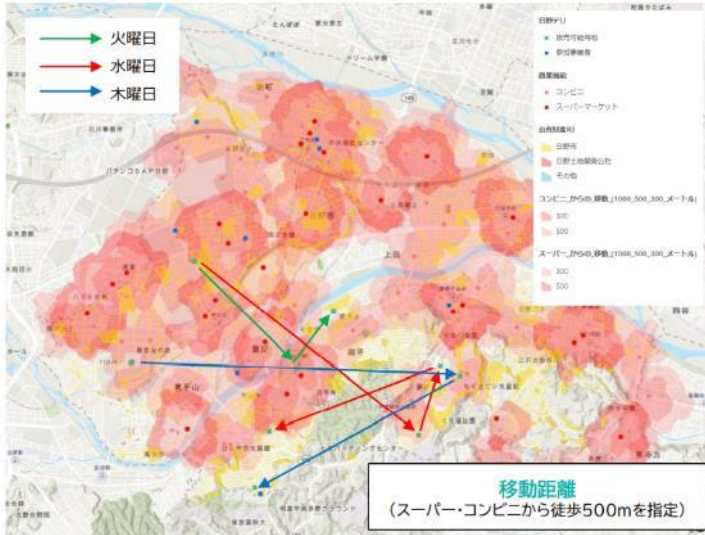


空き家情報をリアルタイムで 集計するダッシュボード



空き家情報管理フォーム& ダッシュボード

日野市におけるGISの活用



新型コロナ感染拡大時には
移動販売の販売適地分析に活用

災害情報管理ダッシュボードを
使って避難所情報をリアルタイムに
反映

LINEから避難所情報取得

避難所情報をリアルタイムに反映する
防災情報ダッシュボード



図上訓練にて
操作研修



Topics

3.



電子図書館サービスについて



問い合わせ先 中央図書館

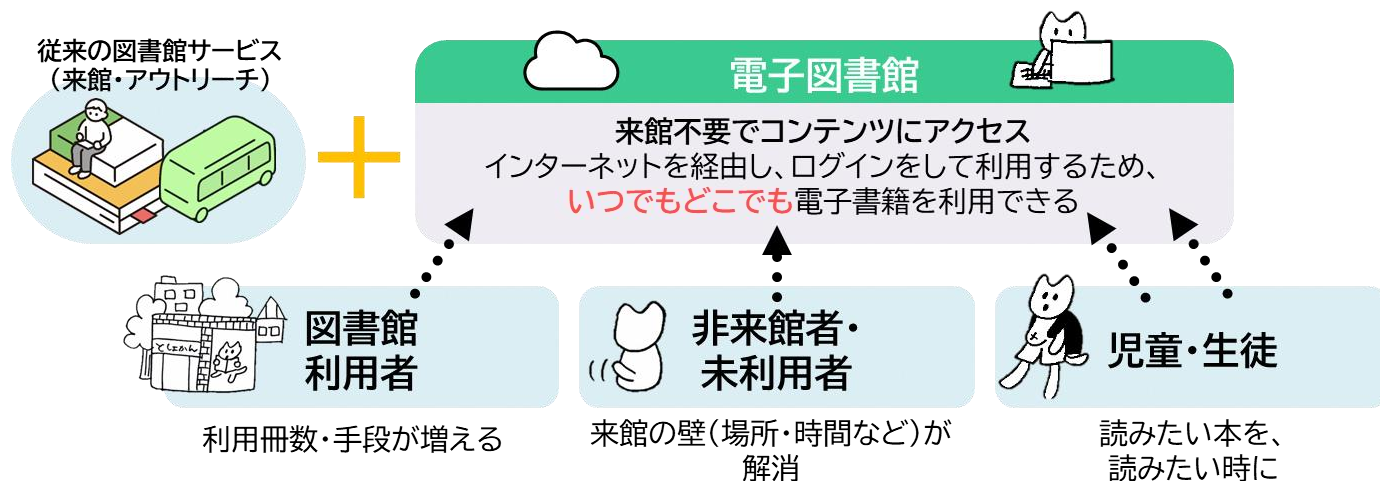
館長 奥住 ☎042-586-0584

3. 電子図書館サービスについて

ひの電子図書館 7月2日スタート

→ いつでもどこでも使える電子図書館開館

- 既存の7館と移動図書館1台に加えて、新たに「ひの電子図書館」をスタート
- 物理的・時間的に図書館の利用が難しかった方も、電子書籍を楽しめるように
- 従来の貸出サービスに加えて電子書籍も提供することで、利用できる冊数や利用手段が増加
- 子ども向けの本を中心に、同時アクセス数が無制限のコンテンツを用意することで、児童・生徒の「今読みたい」気持ちにこたえる(子どもの読書活動推進)





ひの電子図書館の利用対象者

→ 市内に在住・在勤・在学の方

- 市立図書館の利用者カード(有効期限内)が必要
※電子図書館にログインするためのIDになります
- 6月中旬時点で利用者登録が有効な方は、7月2日から電子図書館が利用可能
- 市立図書館での利用者登録がまだの方や、有効期限が近い方は、この機会にぜひ登録や更新を行ってください



→ 市内の小・中学校に通う児童・生徒

- 市内に通う児童・生徒に対して9月ごろに学校用IDを配布予定
- 図書館利用者としてのIDとは別に配布
- 身近な環境(特に学習者用端末)で、読みたい本を読みたい時に楽しめる
- 学習者用端末や同時アクセス数が無制限のコンテンツを活用し、探究的な学習活動や読書活動を推進



1,600点超の電子書籍が利用可能

→生活に寄り添った内容の電子書籍

- 子育てや料理、ビジネスなど、暮らしや仕事に役立つもの
- 介護や健康維持といった、生活のお悩みに沿ったもの
- あまり他人には知られたくないセンシティブなもの(性的指向など)

→子どもの本が読み放題のコーナー

- 約500冊の子どもの本が、同時アクセス数が無制限
- 貸出冊数上限や予約なしで、読みたいときにすぐ読める
- ひとりでも、クラス全員でも、同じ電子書籍を、同じタイミングで利用可能
- 朝の読書や余暇、探究的な学習で活用



→雑誌が読み放題のサービス導入

- 電子雑誌読み放題サービスを導入
- 約200タイトルの雑誌が利用可能
- サービスへの同時アクセス数は20人まで



Topics

4.



DX人材の育成 「デジタルコワクナイ作戦」

問い合わせ先 情報政策課

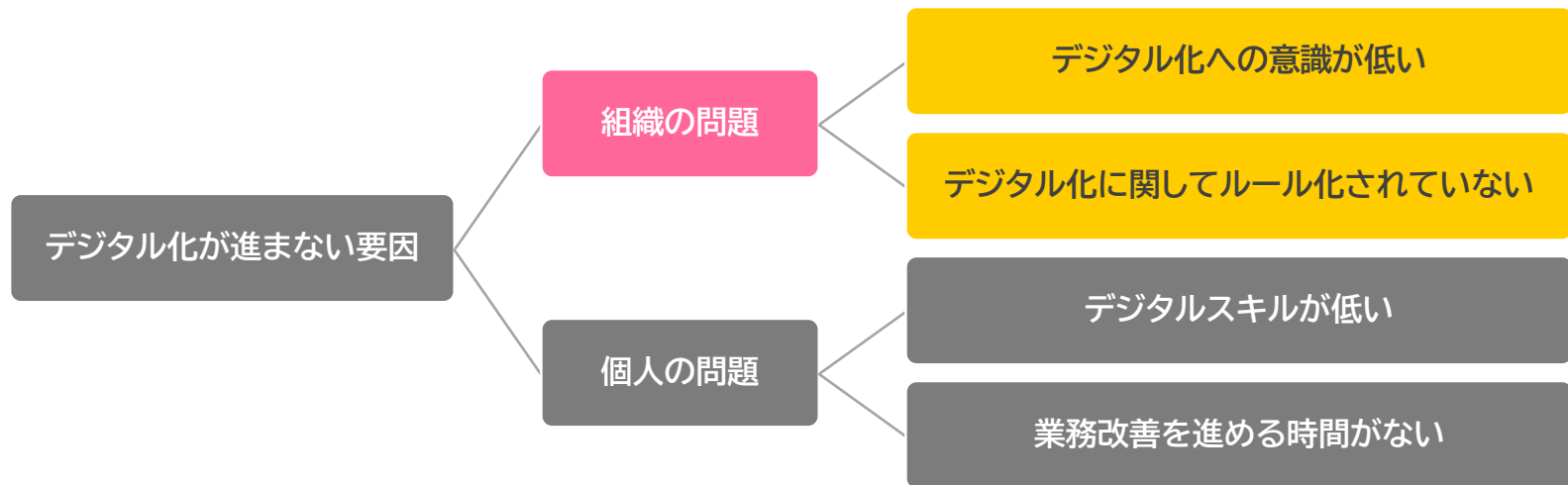
課長 高橋 ☎042-514-8969



4.DX人材の育成「デジタルコワクナイ作戦」

デジタル化が進まない要因＝「組織」の問題を解決

- ➡ 職員の抱えている「困りごと」を把握するために、デジタル化に関するニーズ調査を実施➡多くの困りごとが「組織」の問題に起因



- ➡ 「組織」の問題の解決に向け、段階的に「内部職員の育成」を進めるために、「職員みんなで、デジタルを味方につけて仕事をしよう」という想いを込めて「デジタルコワクナイ作戦」というキャッチフレーズを設定

4.DX人材の育成「デジタルコワクナイ作戦」

「デジタルコワクナイ作戦」の概要

→ 宣言動画公開(R6.4月)



◀ YouTubeチャンネル
「日野市広報」で公開中

- 「デジタルコワクナイ作戦」の周知・DX推進の意識醸成

→ デジタルルールの徹底(通年)

- 事務処理の基準の統一化による、効率化・標準化(非属人化)
- 課による事務処理の差異を減らし、事務引継ぎの効率化
- 入庁年次の浅い職員も、必要な情報へのアクセスが容易に

→ DX人材育成研修(3カ年事業)

- リテラシーアセスメントで現状を客観的に把握し、最適な研修プランを立案・実施
- 3市(日野市・多摩市・稲城市)連携による事業の効率化
- DX人材育成方針の策定

→ 前期アクションプラン実施(R6・R7) + 後期アクションプラン策定(R8)



日野市 定例記者会見

